

# 2023年 迎春

富士山 撮影名所で有名な高川山(大月市 976m)にて 児玉捷之氏(北区) 撮影



「不屈」No583付録 埼玉版 (No411)

**治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部**  
〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B  
電話・Fax 048-824-0094  
✉ [chian2022@gmail.com](mailto:chian2022@gmail.com)

**〈国会請願三項目〉**  
①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること  
②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと  
③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

## 冬空白き

浅子 薰衣

澄みわたる冬空白き月一つ  
暖房車あの人男もしかして  
明神や神がかかる駅柿たわわ  
一陣の風にはらはら紅葉散る  
毛糸帽似合う似合うと友くれし  
朝寒や認知の妻の車押し

(春日部市在住 女医 九五歳)

## 大軍拡食い止め、平和外交を！「国賠同盟」飛躍の年に！

- 会長 加藤 ユリ  
副会長 岩田 治樹、小池 莊市、森田 君子  
事務局長、大野 辰男  
常任理事 大澤 辰雄、小久保剛志、佐藤 訓子、林 登美男、福田 美子、福家 駿吉、渡辺 喜久男  
理事 浅子 薰衣、卯月 武彦、加納 幸子、鯨井 洪、倉又 孝夫、黒崎 勇、小室 仁彌、権田 圭助、佐藤 修一、篠田 健一、菅原 明、鈴木 実、田中 昌子、新島 善弘、橋本 静修、二橋 元長、本山 修一、丸山 芳枝、水戸 元次、宮地さか枝、望月 たけし、柳澤 暁  
監事 齋藤 健、中里 清志  
顧問 高根 賢一、矢島 恒夫

### 今年こそ、わがまちに、「国賠同盟」の支部をつくりましょう

昨年「県総会」では、支部が主役の活動をすすめ、「県同盟創立50周年を50名以上の会員で迎える」ことを決めました。その為にも、七割を占める点在会員を有する埼玉同盟にとっては、「支部づくり」は最重要課題だとし、次期総会までには支部を倍加の10支部以上にする事を決めました。

県本部としても「支部づくり交流会」を開くなど努力を重ねてきましたが、まだ「新支部誕生」に至っていません。今年こそ、「準備会を結成する」など具体化をすすめる新支部設立に力を入れましょう。県本部としても引続き、各地の取り組みの「経験交流」もすすめていきたいと思えます。早速ですが、越谷の望月さんから「力強い決意」が寄せられましたので掲載します。

#### この時を力に

越谷 望月たけし

2023年は統一地方選挙の年。大軍拡で平和と暮らしを破壊しつづけている岸田政権をやめさせるためにも選挙勝利は必須です。そ

してこんな政治課題に立ち向かっている時こそ、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟埼玉県本部越谷支部結成のエネルギーをひきだす好機かも知れません。

越谷市では15人の会員がいるのに支部が結成されていません。県本部理事に加えて頂き支部づくりに集中するはずだった私が、諸事情で集中できず足踏みしてしまったことは申し訳ないと思っています。

昨年9月に行われた「埼玉での支部づくりをめざす第1回支部活動学習交流会」に参加した時の資料を読み直し、「全国の支部作りの経験」にも学んで県本部の力を借りながら、統一地方選挙のたたかいと並行して、支部結成の準備をすすめたたいとおもいます。「事務局に共産党議員が入ると運動が大きく進む」という山梨県北杜支部の経験も参考にします。この時を力に。

#### 【告示】

#### 第2回 県本部理事会の開催

日時：2月15日(水) 13時30分

場所：浦和、黒澤ビル3階コラボ

\*関係者は、万障繰り合わせてご参加ください。

#### 新加入同盟員紹介 2名

橋本良栄(さいたま市緑区)  
野口義明(さいたま市岩槻区)

#### 国会請願署名推進コーナー

##### 【個人署名】 (471筆)

高田 哲郎 (小鹿野町)	80筆
篠田 健一(東松山市)	10筆
小川 始 (富士見市)	15筆
望月たけし (越谷市)	30筆
佐々木慶子(宮代町)	10筆
橋本 静修 (緑区)	42筆
中澤 正雄 上尾市	1筆
埼玉 AALA	127筆
12・8 開戦記念日宣伝	10筆
新婦人埼玉県本部	27筆
埼玉教労組	5筆
国賠同盟 春日部支部	35筆
同 岩槻支部	79筆
岩槻革新懇	
全日本年金者組合 行田支部	
同 岩槻支部	
全国一般・ポリコール労働組合	

##### 【団体署名】 (4団体)

#### 年末募金ありがとうございました

署名合計(12月23日現在)

個人署名 1578筆  
団体署名 16筆

川辺敏雄、木村邦三・和江、川嶋猛、塩川民子、金子信男、新藤孝子、加納幸子、角田晃信、宮川雅之、横田正利、浅見常好、長澤志保子、川又朋子・俊永、福家駿吉、大澤辰雄、五十嵐孝弘、加納真、菅原明・葦子、長澤志保子、矢島恒夫・弘子、小野洋一、埼玉県労働組合連合会、自治労連埼玉県本部、埼玉高等学校教職員組合、埼玉県教職員組合、さいたま地区労働組合協議会、埼玉総合法律事務所、さいたま住宅生活協同組合、日本共産党埼玉県議会議員団、同 さいたま市議団、同 上尾市議団、国賠同盟岩槻支部、  
(敬称略・12月23日現在)

#### 【お詫びと訂正】

12月号4面2段目、見出し「次期総会までに、四〇〇名の会員めざし」の会員目標四百名を四五〇名に訂正。文中も四五〇名に訂正。



【交通】秩父鉄道長瀨駅下車、長瀨風布大鉢形まで徒歩60分

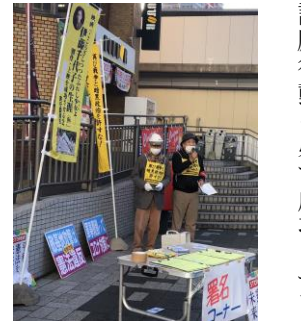
大野苗吉は事件当時二二歳で独身。蜂起に際しては甲副隊長に就任した。苗吉が大野福次郎、石田造酒八らと共に風布村における困民党結成の中心人物であることは、風布村村民の訊問調査から明らかである。また、風布村の坂本儀右衛門は苗吉らが「乍恐天朝様へ敵対するから加勢を」と呼びかけたとも供述している。

明治一十七年一月四日夜、甲隊は児玉郡金屋村で東京鎮台兵と戦闘となった。高岸藏の尋問調査によると、「金屋村に至ると人家の竹藪より兵隊に発砲され、……味方の隊長は抜刀隊を進め進めと下知したけれども、砲撃烈しく、味方が一発撃つうちには敵の弾丸二十発も飛び来るにつき進みかねていると、敵の弾丸先に進め進めと指揮したる隊長分に当たり、たちまち人家の戸の傍に斃れたる」。この隊長分が苗吉と思われる。苗吉の家族も金屋の戦いで戦死したといっていた。しかし、苗吉は山中谷を越えたという証言もある。

苗吉の家の庭の一角に苗吉の名が記された木札を納めた祠があった。その木札には「通名苗吉大野新吉の長男也」の文字が読み取れたが、今はない。苗吉家は取り壊され、敷地の一角に祠一つが置かれているが、これはかつて木札が納められた祠とは違う。元の祠はどこにあるのだろうか。

### 秩父事件 第16回 大野苗吉の墓碑 篠田健一

村に至ると人家の竹藪より兵隊に発砲され、……味方の隊長は抜刀隊を進め進めと下知したけれども、砲撃烈しく、味方が一発撃つうちには敵の弾丸二十発も飛び来るにつき進みかねていると、敵の弾丸先に進め進めと指揮したる隊長分に当たり、たちまち人家の戸の傍に斃れたる」。この隊長分が苗吉と思われる。苗吉の家族も金屋の戦いで戦死したといっていた。しかし、苗吉は山中谷を越えたという証言もある。



ハンドマイクで訴える大野事務局長、小室前副会長

12月8日、浦和駅東口に於いて、国賠同盟本部による「不戦の日」宣伝署名行動が約一時間元氣よく行われました。岸田政権による大軍拡・増徴が打ち出されるなかでの宣伝行動で、ハンドマイク宣伝にも力が入ります。署名コーナーには、高校生や20代、40代の女性、そして俳句人や作家を名乗る著名人なども署名に参加、また、最高齢の90歳の女性は「今の政治はひどすぎる！自公政治を変えて欲しい」と署名をして下さいました。寄せられた10筆への熱い想いをしっかりと受けとめ、来年5月の50回目の国会請願行動を必ず成功させましょう。

さて、埼玉県本部は、一年間二つのことで大きく前進しました。一つは、仲間づくり、毎月増勢にこだわり過去最高の仲間を迎えました。二つは、映画「わが青春はつぎのときも 伊藤千代子の生涯」上映運動の成功です。目標5千を五千二百人が鑑賞、県内各地の同盟員の努力が実を結びました。署名の目標やりあげ国会部の創設や県内での支部づくりに挑戦しましょう。私たちが受け継いできた同盟の設立意義の原点に戻り、自公政権の「戦争への道」の足音に負けるわけには行きません。四月に行われる統一地方選挙で地方から軍拡ノゾの意思表示をしましょう。そして「軍拡反対、民主主義と憲法を壊すな」と声をあげましょう。

川柳 高高と揚がりし風に願平和 国かたち壊し戦の三文書 春日部市 福家 駿吉

### 惨害招いた過ちを繰り返すな 12・8「開戦記念日」に「不戦誓って」 国賠同盟が宣伝行動……

短歌 曉闇は旗配達の夜明け前。ペタルこぐ脚力が入る 春日部市 細谷 宣朗



### 国賠同盟の存在意義をかけ、「戦争国家づくり」許さない運動の先頭にたつてたたいましよう 埼玉県本部 会長 加藤 ユリ

新年あけましておめでとうございます。みなさまには、お元気で新年を迎えられたことと存じます。今年もよろしくお願ひします。昨年十二月、岸田自公政権は、「安保三文書」を閣議決定し、これまで歴代政権が違憲としてきた敵基地反撃能力の保有を明記しました。これは、日本が攻撃されていなくともアメリカの要請があれば敵基地攻撃も可能となる危険極まりないものです。憲法と立憲主義を破壊し、平和を壊し、膨大な軍事費を増徴して国民に押し付ける。この道は戦前への道です。話し合いと外交で平和をつくりていくべきです。国賠同盟は、存在意義をかけて、「戦争国家づくり」を許さない運動の先頭にたつてたたいましよう。



### 新年のごあいさつ

日本共産党埼玉県委員会 委員長 荻原 初男

新年おめでとうござります。昨年は、ロシアのウクライナ侵略をめぐるたたかいはじまり、年末に岸田政権が打ち出した「戦争国家づくり」をめぐるたたかいなど、文字通りの激動と激闘の一年でした。皆様それぞれのたたかいは先頭に立たれたことに敬意と感謝を申し上げます。また、参院選挙におけるご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。今年は年初から大闘争の一年になると思っています。岸田政権は、これまでの「専守防衛」の立場をかなり捨て、「戦争国家づくり」に向かつて国家総動員体制を敷く決定をおこなしました。暮らしの予算も社会保障も、軍事予算の確保のために動員されます。戦前の治安維持法のように、国民の自

由と民主主義を破壊していくことは想像に難くありません。この「歴史的岐路」のたたかいで打ち勝つことができなければ、必ず新しい政治が切り開けると確信しています。この100年、命をかけて反戦平和、自由と民主主義を高く掲げてきた政党政党として、皆様と固く連帯し、戦後最大の岐路におけるたたかいは先頭にたつて決意です。治安維持法・国賠同盟の発展と皆様のご健康を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 熱風

衆参両院で、憲法改定を支持する議員が議員数の三分の二以上を占めた現在、国会で憲法改定の発議が行われる恐れが現実となつています。しかし、「国会で憲法改定発議がされても国民の意見をきく国民投票がある。国民の多くは、憲法改定には賛成していないから、大丈夫」という意見も聞きますが、大きな問題があります。▼実は、現在ある国民投票法は、最低制限投票率が無いので、国民の総意を投票結果に正しく反映できない場合が生ずるのです。例えば、投票率が生ずる者の過半数以下の場合には、憲法改定に賛成が国民の過半数以下であっても、投票総数の過半数を憲法改訂に賛成の数が占めれば可決されます。▼国民投票法にも、例えば「有権者の三分の二以上の投票率が必要」などという最低制限投票率を定めておくことが必要なのです。現状では、いざ国民投票となったら、憲法改定反対の人は必ず投票に行くんだという世論を作っておく事が求められています。(治)

### 同盟文芸

